

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立二川南小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-3147

E-mail futagawaminami-e@toyohashi.ed.jp

Website http://futagawaminami-e.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 294 名 女子 272 名 合計 566 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

学校教育目標を「ふくよかで、たくましく、なんでもチャレンジ」とする本校では、ESD を“暮らす”，“食べる”，“生きる”の観点から捉え取り組んでいる。子どもたちは、自分の住む町の自然や産業，その中で培われた文化や人とのつながりについて学んでいく。これは郷土愛あふれた持続可能な社会づくりの担い手を育むための資質や能力の基礎的な部分を育てる教育であると位置づけている。

具体的には，“暮らす”に係る活動①「防災デー！」と“食べる”，“生きる”に係る活動②「荒田池ネイチャーランドであそぼう！」を行った。

### ① 防災デー！ 6月3日（土）

地域コミュニティのみなさんと保護者・全校児童と一緒に防災訓練を実施している。大規模な災害が起きた時に小学生（高学年）が、地域の一員として、周りの人のために自分ができることを考え、実行したり、手助けしたりできるようにさまざまな体験活動を行っている。内容は、「みんなで学(まな)防災(ぼうさい)」の講座や自治会主催の講座、消防署の講座、炊き出しなど多岐にわたっている。また、その際に引き取り訓練や地区懇談会も合わせて行い、保護者や児童の防災意識や交通安全の意識の向上を図っている。手さぐりで始めた校区を挙げての防災訓練も 4 年目を迎え、改善をはかりながらより充実した活動が実施できるように取り組んできた。



## ② 荒田池ネイチャーランドであそぼう！

2014年3月にスタートした荒田池親子自然教室。ボランティアさん達に支えられながら、親子一緒に畑で作物を育て、収穫して味わい、池や果樹園で遊び、アヒルやヤギと触れ合い、自然に親しむ教室。

実施日（通年・全6回） 活動時間 9：30～11：30

- ・5月13日（土）初めての畑作業 ネイチャーランドで遊ぼう！

活動内容：ジャガイモの畝立て、玉ねぎの収穫、草取り、果樹園の木々についての説明

- ・6月10日（土）ジャガイモ・トウモロコシの収穫体験 夏野菜の植え付け

- ・7月8日（土）ジャガイモ・トウモロコシの野外調理 ネイチャーランドで遊ぼう！

活動内容：ジャガイモの収穫、薪割り、火おこし、ジャガイモ調理、試食、

- ・9月2日（土）秋まき野菜の植え付け ネイチャーランドで遊ぼう！

活動内容：冬野菜の畝作り、ボート、釣り

- ・12月2日（土）秋まき野菜の収穫 採った野菜の野外調理

活動内容：ダイコンの収穫と調理、豚汁作り、薪割り、火おこし、試食、ヤギと遊ぶ

- ・3月10日（土）ジャガイモの植え付け ネイチャーランドで遊ぼう！

活動内容：トウモロコシの植え付け、マルチ敷き、ジャガイモの種イモの植え付け。

また、クラブ活動には荒田池クラブがある。育てた野菜を味わったり、荒田池の自然を楽しんだりして、子どもたちが自然に親しみながら環境保護の大切さを目を向ける機会となっている。



ジャガイモの皮をとる



大根を輪切りにする



火をおこす



みんなで食べる

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 土曜日に希望する児童, 保護者が集って参加 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし
------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

「防災デー！」は、学校行事として位置付けている。学級活動の「(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全」や保健体育の「けがの防止」にも関連させながら、自然災害に備える大切さを学んでいる。

荒田池親子自然教室は、地域ボランティアが講師となり、自主的に子どもや保護者が参加しており、教育課程外である。荒田池クラブは、講師の地域ボランティアさんのもと様々な体験活動をおこなっている。5年生の社会科「私たちの生活と環境」や総合「達人に学ぶ！ぼくら二南米づくり」の学習で「荒田池ネイチャーランドで遊ぼう！」を関連させて取り上げ、自然環境のよさや大切さ、必要性を学んでいる。

これらの活動については、学校評価で寄せられる保護者からの意見を踏まえながら、協議し、次年度の活動の構想につなげている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌で ESD 担当者を決めている。教務主任と ESD 担当者が中心となり、ESD についての活動方針をたて活動を進めている。全校職員が共通理解をして、活動をすすめていくことを目指している。しかし、じゅうぶんな時間をかけられていない現状である。次年度は、4月に ESD の方針を確認し、年度末に ESD について振り返る場を設けることで、より子どもにとって意義のある活動になるようにしたい。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価のために、保護者、子ども、教員に対して、アンケートを実施し、その結果を踏まえて活動を改善していくことになっている。

「防災デー！」の体験の一つである引き取り訓練については、「屋内ではなく実際に即して考え屋外で実施した方が子どものためによりよい。」との意見があったので、そうした視点で次年度の内容を考えたい。「荒田池ネイチャーランドで遊ぼう！」については、こうした活動があってありがたいとの意見を多くいただいている。しかし、地域ボランティアの方々の高齢化による、指導側の後継、世代交代が大きな課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

「防災デー！」の体験については、活動紹介の記事をポスターにまとめ、ユネスコスクール豊橋大会に掲示発表で参加した。また、同様のポスターを校内にも掲示し、活動の意義が子どもにも来校者にも広まるようにした。また、「防災デー！」や「荒田池ネイチャーランドで遊ぼう！」の活動の様子は、学校新聞「ふたなん通信」で保護者や地域に向けて発信している。こうした発信への具体的な反応は届いていないが、こうした発信が活動の意義を伝える大切な機会となっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

「防災デー！」には、自治会、消防署、地域ボランティア、PTA といった方々、「荒田池ネイチャーランドで遊ぼう！」には、地域ボランティア、おやじの会などの方々に協力を頂いている。こうした方々は本校の ESD 活動にとって欠かせない存在である。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

学校間の交流には至っていない。ユネスコスクール豊橋大会では、本校の教員が4名参加し、市内の公立小中学校の実践をポスターセッションの形で聞いたり、桜丘中学校の実践をプレゼンテーションの形で聞いたりすることができた。こうした他校の実践に学びながら、ネットワークを構築することは今後の課題である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

本校の子どもたちは自尊感情が高い結果が出ている。この結果には、豊かな自然環境を生かしながら、教職員が子どもの心に寄り添う教育を心がけていること、多くの地域の方々が本校の教育に関わっていただけていることが大きく寄与していると感じる。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

4月	活動の提案		
5月	「防災デー！」内容検討		
	荒田池親子自然教室①	荒田池クラブ①	
6月	「防災デー！」6/9 ※実施後アンケート		
	荒田池親子自然教室②	荒田池クラブ②③	
7月	荒田池親子自然教室③	荒田池クラブ④	
9月	荒田池親子自然教室④	荒田池クラブ⑤	
10月		荒田池クラブ⑥⑦	
11月		荒田池クラブ⑧	
12月	荒田池親子自然教室⑤	荒田池クラブ⑨⑩	
1月		荒田池クラブ⑪	本年度の反省
2月		荒田池クラブ⑫⑬	次年度の計画
3月	荒田池親子自然教室⑥	荒田池クラブ⑭	